

生産者情報コーナー

組合員の皆さんの実践例を載せ、参考にさせていただくコーナーです。今回は、46号にひきつづき、あさつゆに鉢花などを出荷している委託会員の手塚さんの栽培記録の中から大輪つゆくさをご紹介します。

◎型状 8寸鉢

◎売れた理由

アメリカ産ですが、和風庭園に良くマッチする。派手さがなく直向きなやさしさを感じさせる。庭に植え毎年花を楽しめる。色は、赤・桃・白・青とカラフルに楽しめる。

◎栽培管理

・1番花が終わる8月頃、2節づつカッターで切る。切り口をつぶさないように注意します。

切る位置は、葉の下部5mm、葉の上部5mmとします。下葉は丁寧に取り除いてください。下葉の節回りから根がでます。上葉は1/2切って下さい。

育苗箱にパーライト、バーミキュライト(無菌)を入れ、2~3cm間隔に挿します。

挿し終わったら水をタップリやり、日陰に置いてください。

20日くらいで発根します。

・新芽が伸びてきてから4寸ポットに定植します。寒くなるまでに1回液肥をやり、11月から4月上旬まで0℃ぐらいの場所で休眠させます。

5月中旬頃には、株の根元から新芽がたくさん出ます。6月中旬には花が咲きますので、色別に寄せ植えします。

用土は43号に記載のアジサイと同じです。病虫害は殆どありません。



野菜の作業

種まき	定植 (植付け)	栽培のポイント																																														
・ハウレンソウ ・コマツナ ・シュンギク ・ハクサイ ・ダイコン ・カブ ・ など	・ブロッコリー ・キャベツ ・ワケギ ・レタス など	○夏野菜の暑さ対策 ・敷きワラ、こまめな灌水などで土壌水分の急激な変化をさげましょう。 ・追肥を行い樹勢を維持します。 ・雨よけハウスなどでは、天井フィルムの上の遮光ネットや寒冷紗をかけて温度をさげます。(ただし、遮光率は20%以下とします。)																																														
	収穫	○主な秋まき野菜の作型と品種																																														
※秋バレイショの植付けは、標高500mの地帯で8月下旬になります。品種は、休眠の浅いデジマやニシユタカを利用します。 	・ハウレンソウ ・スイカ ・メロン ・スイートコーン ・ピーマン ・キュウリ ・トマト ・ユウガオ ・カボチャ ・オクラ など多数!	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>播種期</th> <th>定植期</th> <th>主な品種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハクサイ</td> <td>8月中旬まで</td> <td>9月中旬まで</td> <td>黄ごろろ65</td> </tr> <tr> <td>キャベツ</td> <td>7月下旬まで</td> <td>8月中旬まで</td> <td>若峰、初秋</td> </tr> <tr> <td>ブロッコリー</td> <td>7月中旬まで</td> <td>8月上旬まで</td> <td>ピクセル</td> </tr> <tr> <td>レタス</td> <td>8月中旬まで</td> <td>9月上旬まで</td> <td>極早生シスコ</td> </tr> <tr> <td>ワケギ</td> <td>9月上旬まで</td> <td>9月下旬まで</td> <td>青帝</td> </tr> <tr> <td>ホウレンソウ</td> <td>9月中旬まで</td> <td></td> <td>オーライ・ヨロイ</td> </tr> <tr> <td>コマツナ</td> <td>9月中旬まで</td> <td></td> <td>楽天</td> </tr> <tr> <td>ダイコン</td> <td>8月下旬まで</td> <td></td> <td>耐病総太り, YRくらま</td> </tr> <tr> <td>カブ</td> <td>8月下旬まで</td> <td></td> <td>耐病ひかり</td> </tr> <tr> <td>タマネギ</td> <td>9月上旬まで</td> <td></td> <td>OK黄、泉州黄色</td> </tr> </tbody> </table>	種類	播種期	定植期	主な品種	ハクサイ	8月中旬まで	9月中旬まで	黄ごろろ65	キャベツ	7月下旬まで	8月中旬まで	若峰、初秋	ブロッコリー	7月中旬まで	8月上旬まで	ピクセル	レタス	8月中旬まで	9月上旬まで	極早生シスコ	ワケギ	9月上旬まで	9月下旬まで	青帝	ホウレンソウ	9月中旬まで		オーライ・ヨロイ	コマツナ	9月中旬まで		楽天	ダイコン	8月下旬まで		耐病総太り, YRくらま	カブ	8月下旬まで		耐病ひかり	タマネギ	9月上旬まで		OK黄、泉州黄色	※ホウレンソウ、コマツナはトンネル、ハウス利用で更に遅まきできる。	
種類	播種期	定植期	主な品種																																													
ハクサイ	8月中旬まで	9月中旬まで	黄ごろろ65																																													
キャベツ	7月下旬まで	8月中旬まで	若峰、初秋																																													
ブロッコリー	7月中旬まで	8月上旬まで	ピクセル																																													
レタス	8月中旬まで	9月上旬まで	極早生シスコ																																													
ワケギ	9月上旬まで	9月下旬まで	青帝																																													
ホウレンソウ	9月中旬まで		オーライ・ヨロイ																																													
コマツナ	9月中旬まで		楽天																																													
ダイコン	8月下旬まで		耐病総太り, YRくらま																																													
カブ	8月下旬まで		耐病ひかり																																													
タマネギ	9月上旬まで		OK黄、泉州黄色																																													

○ワケギ・ラッキョウ・あさつきの植付け

ワケギは、8月中旬～9月中旬、ラッキョウ・あさつきは8月下旬～9月上旬が種まき時期となります。10㎡当たり堆肥20kg～30kg、酸性を嫌うので、炭酸苦土石1.5kg化成肥料を1kg～1.3kg施して耕します。

ワケギは、株間20cm、1カ所に2～3球を種球の上部が見える位の浅植とします。あさつきは、株間30cm1カ所に1球ずつ植え付けます。ラッキョウは、株間を10cm、植付け球数は1球植えにすると大きくなり、3球植えにすると球は小さくなりますが数が沢山とれます。

●作ってみては？（～バラエティーに富んだ品揃えのために～） NO.5

※忙しい中とは思いますが、他の直売所などにも出かけて、品揃えや珍しい品目などをリサーチしてみましょう！！！！

品 目	栽培のポイント
 紅菜苔 (コサタイトイ)	花蕾と茎（トウ）を一緒に食用にする。葉の根元やトウは赤紫色であるが、熱を加えると濃い緑色になり、甘みと特有の風味がある。 栽培は比較的容易。種まきは8月中旬まで。事前に10㎡当たり苦土石灰1.2kg、完熟堆肥2kgと有機配合肥料約60gを目安として施し耕しておく。うね幅60cmに30cm間隔の2条でスジまきする。間引きながら本葉5～6枚で秋まきは株間を20cmにする。秋まき栽培は、1～2花開花したころ下のほうの葉を3枚くらい残して切りとって収穫すると、わき芽が出てくるので、これを利用すると長期間収穫できる。摘みとった後にすぐ株元に速効性の化成肥料を施すと効果的である。コナガ、アブラムシなどの害虫は、寒冷紗などによるトンネル被覆栽培で物理的に防ぐ。トウが伸びてきて、1～2輪開花したころ株元近くのポキッと折れるところで収穫する。 サカタのタネ資料 他 より

質問コーナー



農業豆知識

ユウガオを食べたところ強い苦みがありました。苦味の成分と原因について教えてください。

ウリ科作物特有に含まれるククルビタシンという物質が原因といわれています。特にへたに近い部分に多く含まれています。きゅうりを始めとして、食用にするものはこの苦み成分をなくすように品種改良されてきていますが、低温や高温、日照不足や水分不足など栽培条件が劣る場合や窒素肥料を多くやった場合などでは、苦いものができてしまうことがあるようです。

また、食用として改良されていないものはこの物質が多くふくまれていて、ユウガオと同じ仲間のヒョウタンを近くで栽培すると交配して苦くなることも考えられます。

ククルビタシンはA～Rまであり、抗癌作用などの薬効のあるものもありますが、逆にまれに下痢などを起こすものもあっていわれています（どの種類、どの程度の量かは定かではありません。）ので、強い苦みを感じるようであれば食用しないようにします。

なお、ゴーヤには強い苦みがあります（モモルデシチンという物質）が、食しても健康上の影響はなく、むしろ健胃効果など夏バテに効くといわれています。

水稻のいもち病防除の徹底を！！！！



7月初めから曇雨天続きで、葉いもちの発生が非常に多くなっています。上位葉まで病斑が拡大しているところでは、穂いもちの予防防除に加えて、出穂期、出穂10日後に粉剤、液剤による防除を行ってください！！薬剤については、既に散布した薬剤との関係がありますので、普及センター、営農センターに問い合わせてください。なお、苗箱施薬は、防除の面や省力の面から効果的です。今年行なわなかった方は、来年は是非行うようにしましょう！！！！

あさつゆ連絡先 電話:FAX 41-1062

技術事項作成協力：上小農業改良普及センター
地域生活係 櫻井普及員 (Tel 25-7156)